

昭和四十七年二月一日発行

鹿児島琵琶同好会

鹿児島の薩摩琵琶同好会では、同会の長老で県指定無形文化財であった巨匠天舟池田政徳翁を偲ぶ追悼会を十月二十五日池田家の菩提寺である南洲寺にて催された。

返葉支部の忘年会

湘南琵琶の巨星平野鉦水師支部長の錦心流一水会返葉支部では、創立初の忘年会を十二月十二日返子東郷園で催し、演奏を兼ねた飲み酒宴を開いて懇親を重ねた。

札幌の義士講演演奏会

札幌紅水会、札幌一水会共催の義士講演演奏会は、十二月十二日午後一時より頓宮神社広間で催され、遠く元禄時代の赤穂義士を偲んで其誠意を題材とした義士伝の歌謡を中心とした三十余名の精鋭と花形が競演し大人気であった。

富山支部の忘年会

一水会富山支部では十二月十二日日枝神社会館にて忘年会を催し、田中麗水支部長、嶋川御水支部長、田中愛水支部長を始め各会員、金沢より田中麗水、水谷充水両幹部が来会され約二十名の競演で興を沸かし四時半終演、直後忘年会を開いて歓談親交し六時半終了。

正絃会の忘年演奏会

薩摩琵琶正絃会の師走例会は、忘年会を兼ねた演奏会として、十二月十九日十二時半より東京芝罘岩山業根広間で催され、国旗を背後に高く掲げた趣味的集まりという感じを醸成は受けるであろう。開会の挨拶は、新鋭組の演奏が活発に続き、ついで、辻清剛、池野谷吟、柏木眞道の元老や大先輩の妙技が続き、仲川秀邦、前田秋声と人気の両大家がこれに続き、八十二歳の和太鼓道翁、吉老の吉成登城、美声家の巧者栗原雨竹の諸氏の熱演で来聴者を喜ばせ、更に女流元老格の田辺錦波、大塚岳俊、古家絳風、鈴木鶴、曾我竜城諸名手の姿も楽屋に見えて歳末気分濃い街の光景と違つてここはノドが暖かである。

名古屋たより

昭和四十六年の名古屋の琵琶界は、十一月二十一日の中部琵琶連盟の演奏会が公演の最終であり、四十七年の新春を迎えます。春の予定大会は、八洲会、松本旭柳会一水会名古屋支部の会、錦心流の功業者故鈴木水師追悼会などで華やかな競演舞台が期待されると

亀川旭江師健在

日本の精神音楽琵琶を朝鮮へ普及した大先覚、東原旭師の長女の高弟で、京城琵琶界の重鎮先輩である福会師範代(大正十一年)亀川旭江師は、終戦後九州に引揚げ移住され、現在尚健在で長崎県南高来郡瑞穂町古部で情報通信関係に携わり、その傍ら琵琶と江頭法輪宗家の法輪流吟詠の普及発展に尽力されつつあると。法輪流吟詠は総師範代で「法泉」と号され、現下島原市から有明、国見、瑞穂、吾妻の各町に支部を置き二百余の会員で指導に忙がしいという。

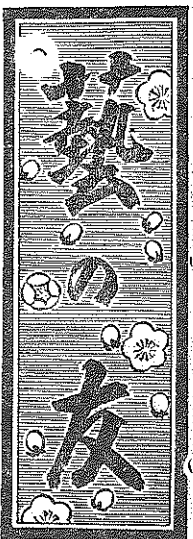
吉村家の番地変更

岳城流山城山本部の吉村時子女史の本邸の町名番地は、本年一月一日より東京都港区芝公園三丁目五番二十三号と変更になりました。加藤旭信老死去、筑前琵琶大阪旭会の長老で、東京へも出演された知名の加藤旭信師は、肝臓病で数ヶ月前より静養中であつたが一月九日午前一時五分長逝され、十日午後二時葬儀が行われたと。茲に敬悼を表す。

非売品

編集発行者 鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ二 電話(九九一)〇三六三番



琵琶特集 二月号

鶴田錦史名人が米国公演に出発

二月六日羽田発

世界音楽界の名人と讃えられる我が琵琶界の巨人鶴田錦史師は米ロスアンゼルスでの公演のため二月六日羽田空港発で渡米される。



(鶴田師)

アメリカでの公演は数年前のニューヨークでの記念公演初出演以来既に六回目で名声全米に高まり、今回もロスアンゼルス以外にも公演の予定があるという。邦楽琵琶の声価は師によって欧米各国に高まり普及されつつあるは感し。

名流の真技を

最秀機で収録の

宮崎翁邸新年会

一月二日の弾初

芸能人は大衆の支持によってそ

この日宮崎翁邸に参集せるは、大館洲楓、鶴田錦史両名人、友吉澄水、石坂南水、山口速水、平野鉦水、平山まさ子とその父眠水、芸の友社鈴木普士、同喜美子、おぐれて水沢文学博士の各氏。午後四時近く弾初は始められ、平山まさ子(本能寺変)、平野(井伊大老)、石坂(敦盛)、山口(羅生門)、友吉(堅田落)、大館(御夢の跡)の六曲で七時四十分頃に演奏収録は恙なく終了した。

宮崎翁の発声で乾盃、談笑交歓に時を過ぎたが、一同は同家の山海の珍珠の饗応に深謝しつつ半数は九時過ぎる頃退去され、あとの半数の方は十二時半に退去された。同家では一月二十三日には水藤錦種名人と外敷大家を招いて第二回目の新年弾初会を開き、前回同様の実技収録して優待される予定という。尚同家には翁の愛琵琶を伝え聞いて各地の自費名手が押しかけ時には迷惑の時もあると。翁はまた筑前派の名匠山崎旭幸さんの芸を開かれてからは筑前派の二団とも交流を圖りたいとの意向を洩らされておられた。

吟剣詩舞振興会新春のしごこ

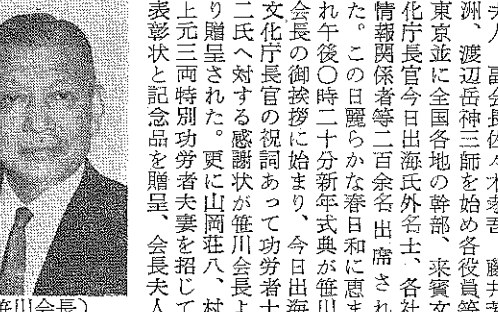
財団法人日本吟剣詩舞振興会の昭和四十七年新春のしごこは、一月十日正午より赤坂紀尾井町のホテルニュー・オータニ芙蓉の間に開催され、笹川良一会長、鎮江

精密部品加工業(腕時計部品)
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売
平井精密工業 有限会社
本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒幡 218 電話 0429 (22) 3660
社長 平井円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商
株式会社 戸谷染料商店
社長 戸谷曙水
本社 東京都台東区下谷2丁目8の9
電話 (873) 3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地
電話 草加 0489 4955番

創業明治十一年
最古の伝統と最高の技術
石田琵琶店
専門製作 薩摩琵琶
附属品一式
各定価 400円
送料 55円

全国学校・病院・工場給食
即席 ロークス
「カレー、ハヤシ、ホワイト」
給食物資製造販売
取締役社長 稲葉新一(葵水)
取締役社長 稲葉卓夫
本社 名古屋市中区西町2の7
本営業所 名古屋市中区東通1の2
電話 代表 (882) 6631



(笹川会長)



(笹川鎮江師)

夫人、副会長佐々木孝吾、藤井芳洲、渡辺岳神三師を始め各役員等東京並に全国各地の幹部、来賓文化庁長官今日出海氏外名士、各社情報関係者等二百余名出席された。この日麗らかな春日和に恵まれ午後〇時二十分新年式典が笹川会長の御挨拶に始まり、今日出海文化庁長官の祝詞ありて功業者十二氏へ対する感謝状が笹川会長より贈呈された。更に山岡莊八、村上元三両特別功業者夫妻を招いて表彰状と記念品を贈呈、会長夫人

島紫海氏の熱吟、北海道吟界の王者内山岳俊師の「富士山」の豪壮雄大な姿が披露された。剣舞、柳原詩舞の名花による晴れ舞台も別室にてお祝のパーティーが開かれたが、この席で坂東三津五郎(歌舞伎名優)丈のあいさつもあった。パーティーは和洋各種の酒、珍肴が盛りられ、寿司、天ぷら、しる粉、そばの模擬店、酒場は白鶴四斗樽の旗かぶり六樽を備え、縁起を祝う餅つきでのご馳走であった。その上幸運を占う福引もあり、特等のはりばりレコード、一等美術置時計、二等は丹後縮緬、三等、金録壺、四等佐賀縮緬、五等など二十余点があり大賑いで新年を祝福し午後三時過ぎ終了された。なお一部の来賓には記念品も贈られ実に華やかな祝会であった。

四月三十日は

笹川鎮江師

リサイタル

日生劇場にて

### 新春第一祝声

### 山元錦城師家の 新築移転披露

現代詩吟界の権威、錦城流宗家山元錦城女師が、郷里鹿野島より上京して筑前琵琶と詩吟教授所を世田谷区代田で始められてより十七年、名所海外にまで轟き渡り、今や吟界の門下のみで約一万人を算する隆盛で、世田谷の本部では手狭を感じるに至り、昨秋来杉並区成田西一丁目六ノ三に総二階建の和洋風五十坪の本部建築が十二月初旬完成し、十二月十八日世田谷より移転された。その御披露が新春一月二日午後一時に、錦城会本部、各支部首脳並に関係吟界名士、区内名士等七十余名を新家に



(山元錦城師)

招き、木の香匂う青畳の式場で盛大な披露の祝宴を催された。式は定刻迄に全場を埋めた会員や来賓で瑞気漂う内に、大塚城聖錦城会本部理事長の挨拶に始まり株式会社山田氏へ感謝状と記念品贈呈、錦城会顧問岩本東洋氏の祝辭、大島宗一、吟道社長佐々木、東京本部顧問都議藤原、ニイガタ社長山田、杉並区会議員下山、渋谷信用金庫浜田山支店長越水諸氏

の祝聲が続く、これに対し山元錦城宗家より答辭が述べられた。それより参列者一同で祝吟「富士山」が合唱されて乾盃を挙げられまた祝電十数通が披露された。

当日参列された来賓の主名者は錦城会顧問岩本東洋、同川口勝治、東京本部顧問藤原哲太郎、吟道社長佐々木虎方、芸の友社長鈴木善士、大島宗一、大野恵造、船川利夫、酒井政治、越水治美、下山富衛の諸氏。また会員は本部大塚城聖、丸山城壯、金子氏等を始め幹部一同、地方各支部代表として宮崎の佐々木城昇、塩釜の藤田錦悠、水戸の城戸錦壽、城戸城浩、横山城翁、名古屋の箕浦錦壽、彦根の早田錦成、甲府の杉田錦芳、長崎の松尾城雲の各氏。琵琶関係では膳場旭竜、原田旭鳳、大家旭峯の諸氏で、錦城会第二段大発展の基を衷心より祝福された。

### 三笠宮殿下の 御前演奏栄誉者

### 名玉 河野旭保師

### 現代筑琵琶の巨匠

筑前琵琶の本場博多に遠からぬ北九州市小倉に本拠を持つ筑前琵琶の名匠である河野旭保女師は、



(河野旭保師)

昨秋十一月五日三笠宮と同妃両殿下がお揃いで九州へお出での御り戸畑文化ホールに於て西殿下御前にて「壇の浦」の曲を謹奏され去船人として貴重な栄誉に浴されたとは目出度し目出度し。

旭保女師は、母旭静さんが明治四十一年頃小倉で筑前琵琶教授をされておられた時に誕生され、琵琶歌は子守歌として生育し四歳の頃より聞き覚えたと云う所謂生れながらの琵琶人である。大正九年大阪に移住し通学されたが、母娘共大阪旭会へ入り琵琶全盛期中は阪神地区の諸名手と研を競ったが、過る戦争で二回の空襲に家を焼かれ再び小倉に帰り今日に至る。小倉復帰後は琵琶教授と共に邦楽界の名手と提携してその復興発展を図るべく邦楽協会やその他の集団を組織して活躍されその極端に在る人望高い婦徳者となられた。河野女師は写真に見る如く朗麗の美貌であり、礼節の正しい温情の巧妻人で旭会承恩指の妻と名高い。その名は新聞雑誌や放送で全国に轟く。

### 田中重次氏の 表彰祝賀会開催

富山市の人望家で人格者としての誉れ高い田中金庫会社長田中重



(田中重次氏)

次(琵琶号歴水)氏は、富山地方裁判所、富山家庭裁判所の調停委員を永年勤められていた処、先般名古屋高等裁判所長官よりその功績に対し表彰を受けられた。また田中氏は自由民主党富山市支部の副幹事を多年に亘り勤められて

### 鶴田師のレコード 初版売切れ再版出来

邦楽琵琶の最高峯で、世界的楽壇の巨匠と欧米楽界に名声轟く名人鶴田錦史師が、吹込んだビクターのレコード「壇の浦」と「本能寺」の版は、十二月五日より発売されたが、十日間ばかりで売切れ再版が十二月二十六日に出来上った。同版はビクターレコードDNO「S」JL二〇九九」定価は千八百円である。

### 宗家、菅根悠光師 改号披露

### 菊水流新年初吟舞会

一月廿八日一時  
第一証券ホール

東京吟詠詩舞界に名声高い巨匠菊水流宗家菅根悠光師は、昨夏その芸号を「悠光」と改名され、従来より一層の黎明さを増して活躍されつつあるが、同師は迎春と共に改号披露を企画され、夫人の吟舞菊水流宗家永田吟詠女師と共に新年初吟舞大会を一月二十八日



(永田宗家)

一時より日本橋三越本店前の第一証券ホールに於て開催される。当日は菅根師一門の吟詠人並に吟友と、菊水流永田師を始め一門総出で華やかな舞台を飾り、悠光師の改号を祝うというから大人気が期待されよう。

### 東京本部主催の 錦城会新春初吟会

新年の二日に新築移転披露の祝宴で、第二期発展の威勢を示した山元錦城宗家統率の吟詠錦城会の東京本部では、四十七年度新春初吟大会を一月九日午前十時より有楽町の第一生命ホールにて開催

され、浜野城将氏の開会の辭に始まり、国歌斉唱、富士山(大合唱)を序演に会員百八十余題の吟を吟吟、独吟で競演され、更に総本部の丸山城壯、鈴木錦秀、今井城静、森錦晴、金子城昭、大登城洋の各指導幹部、最後の山元宗家の範吟まで巧吟が競われ、満員の盛況で迎春を飾られた。

### 日本琵琶振興会 新年初会二十一日

鈴木流泉会長の日本琵琶振興会の四十七年一月の新春琵琶会は一月二十二日千駄谷駅下車徒歩五分の鳩森八幡宮結婚披露会場に於て開催され、各流派の名手が多数参加される予定と、詳細後報。

### 各流名手競技の 琵琶研精会公演

二月十二日二時  
第一証券ホール

東京琵琶界の巨匠や大家連で結成している琵琶研精会は、復興第四年を迎えていよいよ愛好家の人気を呼び名声を高めて来たが、新春第一声は二月十二日午後二時より日本橋三越本店前の第一証券ホールに於て開催される。出演は同人の水藤錦輝、都錦穂、吾妻江風、輝錦司、藤巻旭鴻、古田耕水、仲川秀邦の七師とその門下の新鋭数名で、奏曲は前奏に御祝儀七福神の七同人の合奏を序に、白虎隊、静、湖水渡の三曲があり、同人本番の競演曲は各自一曲宛の外に合奏、精鋭組の「羽衣」を入れるな

ど大奮闘ぶりを見せるといふ。奏曲次の通りである。

- 新曲御祝儀七福神(合奏) 仲川秀邦、古田耕水、藤巻旭鴻、輝錦司、吾妻江風、都錦穂、水藤錦輝、白虎隊(合奏) 河内穂美、高久穂芳、大場穂死、絃都錦穂
- ▲静 輝錦貴、湖水渡(合奏)
- ▲藤巻旭影、水藤五郎、絃藤巻旭鴻、藤巻旭陽、曲理平九郎、都錦穂、清水一角、歌仲川秀邦、絃吾妻江風、伊豆の御難、輝錦司、辻説法、古田耕水、羽衣、(合奏) 新部桜水、都錦穂、藤波桜華、絃水藤錦輝、水藤五郎、小絃吾妻江風、尺八戸室清山、琴国重歌鏡、隅田川、藤巻旭鴻
- ▲伏見の吹雪、吾妻江風、うづは猿、水藤錦輝。

### 紅会の琵琶公演

四月二十日三越

東京琵琶界人気の中である筑前琵琶の巨匠で、各人の誉れ高い押田旭翁女史を主軸とする女流八名花で結成されている「紅会」の恒例春の琵琶公演は、桜花の散つた陽春四月二十日に日本橋の三越本店の劇場にて開催される予定。

### 新春の舞台を飾った 名流琵琶の大会

三越劇場で好評  
日本琵琶界協会と東京新聞社共

### 薩摩琵琶 古曲研究所

所長 辻 靖 剛 (東舟)

- 研究生 須田 誠 舟
- 研究生 城 月 舟 (ジョージ・ギン)
- 研究生 斎藤 瑛 舟
- 研究生 正木 溪 舟
- 研究生 細谷 葉 舟
- 研究生 清川 嵐 舟
- 研究生 山本 嶺 舟
- 研究生 小村 鋒 舟
- 研究生 今村 潮 舟
- 研究生 堀越 素 舟

御宴会、御会食に  
和洋中華料理  
各種コース御用命を

名物天ぷら  
天 政  
札幌市南三条西三丁目  
電話 (231) 2000 番

二月三日開場  
オリンピック  
会場札幌、どうぞ  
寒中御見舞  
芸の友社社長  
鈴木誉士  
電話〇三三三番

妙諦に入る至芸

光る大館洲楓師

全国に数多い琵琶人中には、免状資格が対等なれば、先輩と後輩の礼節も弁え無く同等の名手を氣取る者が多い。上手とか巧者と云われれば直ぐ大家名人ぶるが、



(大館洲楓師)

敬老精神で好評

振興会 鈴木流泉師

礼義を正し、信義を重んじ、博愛主義の常道を守り社会に処すれば大過なく一生を送り得る。琵琶は礼楽で人世五常の大道精神を育成するの根本使命である。全国幾



(鈴木流泉師)

る善行の範たる方もいる。昨秋敬老琵琶会を開き、八十歳以上の同好へ感謝状と記念品を贈呈された。振興会会長鈴木流泉師は、この美行によって人気を倍加された。

功績表彰の天使

理事長 鈴木鉦次郎師

他人を褒め讃えることは、それが世間の噂や口でも聞いて氣持のよいものである。増してや多年に亘り社会国家のために貢献された功業者とか、奉仕された特志者行為は尚ほ美しく衆人を感動させる効がある。表彰には対者の秀



(鈴木鉦次郎氏)

徳望指導の名士

清吟会長 岩田錦皇師

琵琶楽習得の本旨は精神修養のためで、俗に言う道楽遊びではない。人は勉学修業を積んで社会を知り生涯の道を開くのが順序であるが、その道程には理非曲直を解

輝水会の後継者と重視される巧者

輝、金森錦司師



(金森錦司氏)

芸能界には各芸ごとに家元とか宗家と名乗る家柄がある。その芸別の所謂権者である。その家元とか宗家は世襲か、一代限りかはその家の事情によるものである。輝派琵琶の宗家輝錦師は、十

蘇川流を創始された田辺蘇川名人の夫人田辺錦波女師は、本年八十歳の長寿を迎えられ、薩摩琵琶正



(田辺錦波師)

緞会に在りて女流元老と光っている。初代吉水錦翁師の教えを受けた女傑で、故蘇川師在世の琵琶隆盛期には毎日七八十名の門下の指導に献身されたと言ふ巧者で、美声と社交の名花で有名であった。

赤穂義士を偲ぶ

清吟会の忘年会

明朝重厚の紳士岩田錦皇師を会長に、英敏の策士三田村錦師を主軸とする清吟会は、故山口錦堂名人門下の有志で組織され、茲三カ年間に一段の名を高め斯界注視の的となつて、同会は既報の如く十二月十四日午後三時より品川区小山の浅草寺本店の二階広間に於て赤穂義士を偲ぶ義士祭を兼ねた忘年会を開催した。参加者は岩田会長、三田村師を始め大森、中村、後藤、潮、西、長谷川、西村、片岡の各会員と、仲川秀邦、鈴木流泉、山口速水、須釜山田洲、村木俊、吾妻江風、秋葉芳水、望月唯江、鈴木蒼士、寺内の諸氏で各流名手のなごやかな集である。演奏は大森氏の「山科の別れ」に始まり会員や来賓

山崎旭萃師東京本部新年初会

大阪琵琶界の名人山崎旭萃女師の東京本部四十七年の初頭を飾る新年弾初め並びに懇親会は、一月九日午後一時より杉並区高円寺駅前根津会館にて開催され、山崎師、東京本部長安藤光鶴を始め光捷夫人、上山旭寿、押川旭葉、松村旭奎、木下旭竜、酒井旭華、井坂旭良、川島旭章、佐藤旭天紅、糸日谷旭悠、原田旭鳳、花方旭路の各会員、久保池、西村、野島、青木の研修会員、鈴木流泉振興会会長等出席され、先ず奏き初めは酒井さんの「大楠公」を序奏に、原田氏(西郷隆盛)、久保池さん(詩吟富士山)、野島さん(大高源吾)、佐藤さん(大楠公)、松村さん(暹の浦)、木下さん(舟弁慶)、川島氏(大楠公)、山崎師が最後「曲垣平九郎」を演奏して弾初めは終り、それより新年を寿ぐ懇親の交礼宴に移り、芸の友社鈴木社長並に息女を迎えて宴は開かれ、山崎師の年頭挨拶であったので師は急に帰阪のため辞退されたので真の懇親の気分を減退させたのは惜しまれた。

四方田錦隆さん 技能人気で優勝

群馬県下野詩芸能界の巨頭で、芸家の誉れ高い高崎市錦古流宗家針谷錦古師の門下の名玉である同県藤岡市古桜町の四方田錦隆さん、さきにタイチク吟歌協会の主催した吟道選歌技能人気コンクールに出場されていたが、その成績が十二月十二日発表され、四方田錦隆さんは第一位に当選し優勝杯をかち得たといふ目出度し。



(四方田錦隆さん)

古曲研究所好評

薩摩琵琶の元老辻靖剛翁が教年求心かけていた薩摩琵琶古曲研究所創設の件は、茲三カ年来研究生の入門者が増したので正式に発足の、古曲の特長を研修させ琵琶芸術を永遠に保存するが目的。同所には新入生十数名が熱心に練習に励んでおられ好人気である。

前田秋声師好人気

薩摩派の芸家前田秋声師は、一月二日より新年会、懇親会等より

正統会新年初会

薩摩琵琶正統会の新年初の例会は、一月十六日午後〇時半より芝愛宕山菜根にて開き、開会の挨拶についで須田誠舟氏(吉野落)を序演に、柏木鑿道、辻靖剛、大塚岳俊、八束一峰、田辺錦波の各長老連の順演が続き、山本嶺舟、前田秋声、池野谷吟岫、三木絃繩、首我竜城、吉成登城、仲川秀邦、小村錦舟、古家絃風、清川嵐舟、齋藤英舟、遠藤鶴東、栗原雨竹、鈴木鶴鶴、鈴木鶴岡の新鋭と古家の猛者が入り交つての競演に初春の梅花と研を饗えられ賑った。

江頭法輪師上京

京都に在るの全日本聖徳会本部の江頭法輪師は、八十四歳の高齡ながら、元氣壯者を凌ぐ健康で全国的に東奔西走されているが、一月下旬には東京上された有名士を訪問され、序で旧友である本社を訪ねられ、十年振りの再會に懐旧談に花を咲かせ、親交を温めて辞去され、帰京後は更に広島から九州久留米、長崎等を回って聖徳太子像奉安堂宇の建設についての運動に活躍されている。

山崎旭萃師来訪

十月三日初渡米され、ロスアンゼルスや桑港で大歓迎を受け、在駐邦人愛琵琶家へ橋会琵琶と、大和流琵琶を教授し好人気を博し、帰途ハワイでまた愛好者を指導し十二月十六日午後四時羽田空港着で帰国された橋会宗範山崎旭萃師は十七日佐藤旭天紅、原田旭鳳両名

峯風麗さん好評

笹川鎮江師指導の吟詠界の明星峯風麗会長さんは、一昨年来健康を善し静養に努められ公演を休止されて出たが、昨秋頃より回復され出演も出来る様になりました。新しい。新年は一月三日朝六時五分NHKラジオにて「扇の的」を放送と決った。五郎氏は流石に宗家の令息だけに天分の才能があり西三年来の上達目醒しい新人だ受け初春を飾った。

水藤五郎氏初放送

錦琵琶家水藤錦鶴師の令息五郎氏は、十一月のオーディションに合格し、今後活躍を期待されているが初放送は三月四日午後一時十五分NHKラジオにて「扇の的」を放送と決った。五郎氏は流石に宗家の令息だけに天分の才能があり西三年来の上達目醒しい新人だ受け初春を飾った。

輝水会の新年会

故輝錦名人の遺業である琵琶錦心流多摩支部の研修会四十六年度納会は、十二月十二日午後一時より小金井市福祉会館にて開き吳亮軒氏を序演に、藤原、村上渡部、中島、中村、伊藤、佐藤、松田、清水、加藤諸氏が出演され七時閉会した。

石田琵琶店の新製品は好評

東京都港区芝巴町の石田琵琶店は明治四十一年の創業で、現工匠は四世不識であるが、一昨年四世繼承以来の製品は頗る人気良く、注文殺到して製作に追われる繁昌である。然し原材が少なため値上げの止むなきが残念であるといふ。資材高のため御推察を願うと

錦城会大会予告

詩吟錦城流宗家山元錦城師の総統する錦城会は、昇天の勢で大発展しつつありて本年上期の大会開催の予定は、三月十九日埼玉県本部設立記念大会と、四月二十三日彦根市に於て開く全国大会が決定されている。

村上空城師移転

秋田吟詠詩舞界の権威、空城流宗家村上空城師は、今回秋田市保戸野すわ町八ノ一八へ移転された。新居は二階建の大家屋で吟舞教室には最適であるといふ。

故馬瀨槍水師追悼琵琶演奏会

一昨年三月逝去された関西に於ける錦心流の大家である一水会大阪支部長馬瀨槍水師は、地方支部長では只一人の本部理事を勤めた人望の名匠であった。馬瀨氏逝去三年になるので追悼琵琶会が企画されつつあると、故師の冥福追祈のために実現を期待する。

多摩支部研修会

錦心流多摩支部の研修会四十六年度納会は、十二月十二日午後一時より小金井市福祉会館にて開き吳亮軒氏を序演に、藤原、村上渡部、中島、中村、伊藤、佐藤、松田、清水、加藤諸氏が出演され七時閉会した。

宗家菅根悠光改号披露

吟詠 吟舞 菊水流新年初吟舞会 日時 昭和四十七年一月二十八日(金)一時より 会場 日本橋(三越前) 第一証券ホール

琵琶詩吟名匠録

Table listing members of the Japanese Koto Music Association (日本琵琶楽協会) with names and contact info.

Table listing members of the Japanese Koto Music Association (日本琵琶楽協会) with names and contact info.

Table listing members of the Japanese Koto Music Association (日本琵琶楽協会) with names and contact info.

Table listing members of the Japanese Koto Music Association (日本琵琶楽協会) with names and contact info.

Table listing members of the Japanese Koto Music Association (日本琵琶楽協会) with names and contact info.

Advertisement for clothing and koto-making services, including '洋服のお誘いは' and '三田村楽器店'.

Advertisement for koto-making services, including '三田村楽器店' and '吉野洲水'.